

# 目 次

まえがき

1. アセットマネジメント手法	1
1. 1 概要	1
1. 2 アセットマネジメントの活用概念（方法）	2
1. 3 アセットマネジメントにおける留意事項	3
1. 3. 1 概要	3
1. 3. 2 橋梁の健全度予測手法	3
1. 3. 3 橋梁の健全度を予測する対象	8
1. 3. 4 橋梁の現状評価	8
2. 橋梁マネジメントシステム（BMS）の基本構成	14
2. 1 システム開発目標	14
2. 2 システムの基本構成と流れ	15
2. 3 データ入力	18
2. 4 健全度（劣化）予測（BMS本体機能）の概要	18
2. 4. 1 健全度予測の対象劣化要因	18
2. 4. 2 対象部材の選定	18
2. 4. 3 健全度の定義	19
2. 4. 4 劣化予測方法	19
2. 4. 5 将来健全度	20
2. 5 補修工事費の算出	21
2. 6 短期計画支援ツール	22
3. 健全度（劣化）予測：BMS本体機能	24
3. 1 コンクリートの塩害の劣化予測	24
3. 1. 1 健全度	24
3. 1. 2 劣化予測モデル	26
3. 1. 3 現状健全度に対する定量的な値の特定	31
3. 1. 4 将来健全度の評価フロー	32
3. 1. 5 劣化予測モデルの検証	38
3. 2 RC床版の疲労に対する劣化予測	44
3. 2. 1 健全度	44
3. 2. 2 劣化予測モデル	45
3. 2. 3 現状健全度に対する定量的な値の特定	48
3. 2. 4 将来健全度の評価フロー	49

3. 2. 5	劣化予測モデルの検証	50
3. 3	鋼部材の塗装劣化・腐食の劣化予測	59
3. 3. 1	健全度	59
3. 3. 2	劣化予測モデル	61
3. 3. 3	現状健全度に対する定量的な値の特定	62
3. 3. 4	将来健全度の評価フロー	64
3. 3. 5	劣化予測モデルの設定根拠	65
3. 4	定期対策・定期交換を行う部材	71
3. 4. 1	健全度	71
3. 4. 2	劣化予測	71
3. 4. 3	交換時期	72
	おわりに	75
	参考資料：定期点検における「損傷程度の評価」区分	77